

## 研究業績

# ミニドック健診成績の検討について

北川内科クリニック 北川 鉄人  
 厚生連高岡病院 谷内 荘成  
 厚生連高岡病院 和田 美智子

富山県厚生農業協同組合連合会では、農業従事者で成人病の予防の目的でミニドックの検査が行なわれた。対象の年齢は40才～60才までの男女である。血液検査は貧血（ヘモグロビン）、血糖、肝機能検査、脂質検査、検尿一般、血圧測定なのである。調査地区は、昭和50年、高岡・入善・呉羽で計248人、51年度、滑川・入善・八尾 444人で合計 692人を調査対象とした。成績の要約については表1、表2に示すごとくである。

### 調査の考察

貧血者、糖尿病患者についてはすでに過去の調査、研究で調べられているが、今回の成績では高岡地区に糖尿病患者が多く、八尾地区では貧血者が多いのが目立っている。高血圧者は、呉羽、八尾地区に多い傾向があり、この地域では、高脂血者が多くなっている。

これらは圧倒的に40才代の成人、中年令層に多いことが特徴的であった。糖尿病患者は高岡市郊外農村地区に多く目立ち、入善

表1 昭和51年度ミニドック検診内訳表（4月～9月末日まで）

富山県厚生農業協同組合連合会

地 区	年 令 判 定	富山県厚生農業協同組合連合会														計	総 計	割 合
		29才以下		30～39		40～49		50～59		60～69		70才以上						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
入善地区	A 異常なし	1	1	3	8	8	24	5	13	4	7	0	0	21	53	74	39.4	
	B 要注意	0	0	0	4	0	20	3	13	0	5	0	1	3	43	46	24.5	
	C 要精検	1	1	2	3	3	13	1	26	6	12	0	0	13	55	68	36.1	
	計	2	2	5	15	11	57	9	52	10	24	0	1	37	151	188	100.0	
滑川地区	A 異常なし	1	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	3	4	7	10.9	
	B 要注意	1	1	0	5	1	22	1	12	3	0	0	0	6	40	46	71.9	
	C 要精検	0	0	0	0	0	4	0	5	1	1	0	0	1	10	11	17.2	
	計	2	2	0	6	3	28	1	17	4	1	0	0	10	54	64	100.0	
八尾地区	A 異常なし	1	1	3	0	4	4	3	4	2	1	0	0	13	10	23	12.0	
	B 要注意	0	0	2	1	28	16	11	15	4	3	0	0	45	35	80	41.7	
	C 要精検	0	1	6	1	7	23	17	19	7	8	0	0	37	52	89	46.3	
	計	1	2	11	2	39	43	31	38	13	12	0	0	95	97	192	100.0	
検診者総計	A 異常なし	3	3	6	9	14	30	8	17	6	8	0	0	37	67	104	23.4	
	B 要注意	1	1	2	10	29	58	15	40	7	8	0	1	54	118	172	38.8	
	C 要精検	1	2	8	4	10	40	18	50	14	21	0	0	51	117	168	37.8	
	計	5	6	16	23	53	128	41	107	27	37	0	1	142	302	444	100.0	

（昭和50年度ミニドック検診表は省略）

表2 ミニドック検査成績異常者のまとめ

昭和 月日	地区	人数	男		貧血(Hd) %	過 血 糖 %	GOT		Al-P		LDH		ZTT	高血圧者 %	高コレステ ロール		タンパク 尿			
			女				%	%	%	%	%	%			%	%	%			
50, 11-11	高岡	119	48		50.2	17.5	1.6	0.8	15.7	4.1	3.3	0	10.7	4.1	15.2	8.6	10.0	0.8	9.1	3.3
			71			32.7	0.8	11.6	3.3	3.3	6.6	6.6		6.6	9.2	5.8				
50, 1-31	入善	70	1		4.3	0.3	3.4	0	15.3	0	8.5	0	0	0	17.0	0	10.2	0	5.1	0
			69			4	3.4	15.3	8.5	8.5	0	17.0		10.2	10.2	5.1				
50, 1-22	呉羽	59	35		1.7	17	6.8	6.8	10.2	10.2	0	5.1	5.1	1.7	22.1	17	15.7	10.2	17	0
			24			0	0	0	1.7	3.4	5.1	5.1		17	17					
51, 3-23	滑川	64	9	11.1	0	4.8	1.6	4.7	0	4.7	15.6	4.7	31.3	3.1	29.7	1.6	12.5	3.1	12.6	1.6
			55	11.1	11.1	3.2	4.7	10.9	28.2	28.1	9.4	12.6	11.0	12.6	11.0					
51, 5-27	入善	188	50	11.4	1.4	4.7	0.7	2.4	2.4	0	9.0	0	6.5	0.7	14.4	1.4	7.6	0.7	0	0
			138	10.0	4.0	0	9.0	134	1.34	5.8	13.0	6.9	0	0						
51, 7-13	八尾	192	96	23.9	9.9	7.8	3.6	0	3.1	12.8	5.6	14.1	11.3	14.1	18.2	6.8	10.2	5.1	2.6	1.0
			96	14.0	4.2	0	4.6	1.5	7.2	7.2	11.4	5.1		1.6						
計 692人			%：正常者に対する異常値を示した者の百分比																	

などの純農村地区では高血圧患者が多いこと  
が見受けられた。これらの原因として、当然  
食習慣の相違によるものであり、脳卒中が多  
発する地域と一致すると考えられる。肝機能  
検査では、滑川地区が圧倒的に多く八尾地区  
がその異常者が少なかった(表3)。肝機能と  
してはこの両者の地区を比較してでも(図1)  
クンケル、LDH、アルカリフォスファター  
ゼの異常が目立ち、その順位については図1に  
示すように同じ傾向が認められた。肝障害の  
スクリーニングとしてはクンケル、LDH、  
アルカリフォスファターゼが最も適当と考  
えられる。ここで、農薬と肝障害の相関を  
検討したいのであるが、今回の肝機能検査のみ

表3

検診年月日	地 区	人 数	GOT	Al-P (KK)	ZTT
50, 11-11	高 岡	119	1.6%	15.7%	10.7%
50, 1-31	入 善	70	3.4	15.3	0
50, 1-22	呉 羽	59	6.8	10.2	5.1
51, 3-23	滑 川	64	4.7	15.6	29.7
51- 5-27	入 善	118	2.4	9.0	6.5
51, 7-13	八 尾	192	0	4.6	11.3

(異常者 %)

は判断出来ない。農薬の使用で問題になって  
いるのは、人体の残留農薬の問題を別とす  
ると、農薬使用時の急性症状、すなわち、皮  
膚病、眼症状などの急性中毒であり、肝障害  
は大した問題とならないようである。

いずれの検査成績でも男性より女性の方  
の異常が圧倒的に多いのは、一目瞭然とし  
ており、農村婦人における健康調査の重要  
性、その原因追求、さらに指導の意義が今  
さらに痛感されるのである。

同じ地区で2年にわたって行なわれたの  
は入善地区だけでいずれの検査成績でも  
異常者の減少が目立っている。広範囲の  
健康調査の努力により地域医療の普及、  
日常生活における改善が効を奏したもの  
と思われる。

なお、検査成績は各個人に配布されて  
おり、それぞれの専門医が必ず精査され  
ることを望みたい。

(本調査には厚生連病院に関係ある諸  
機関の方々の助力によりなされたもので  
あり、それらの方々に謝意を表します。)

図1 厚生連検診2地区の比較 (肝機能異常者)

